

2023年8月21日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社三菱UFJ銀行

「一般社団法人サステナビリティデータ標準化機構」への参画及び理事就任について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 かめざわ ひろのり 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、中堅中小企業や非上場企業を中心としたサステナビリティ関連開示の浸透・促進を目的として、「一般社団法人サステナビリティデータ標準化機構」（以下 本機構）^[1]へ参画し、理事企業へ就任いたしました。

本機構は、「あらゆる意思決定に役立つ、中堅中小企業に特にフォーカスしたサステナビリティの情報開示」を目指し、本邦の銀行を中心とした金融機関、金融庁はじめ関係省庁、中小企業関連団体、その他の関係企業・団体により構成され、2023年8月21日に設立を発表いたしました。

当行としても、気候変動などを起点として社会・経済・価値観が変化し、様々なステークホルダーがサステナビリティ経営に大きな注目を寄せる昨今の状況下、バリューチェーン全体でのサステナブルな経済活動を維持・発展させるには、中堅中小企業や非上場企業の情報開示の進展も極めて重要と考えております。

そうした中で、当行は、本機構に理事企業の一角として参画し、他の多様な参加機関と連携しながら、中堅中小企業や非上場企業の各種サステナビリティに関する情報開示フレームワークの作成・将来的に本邦における基準となり得るガイダンスの作成に貢献してまいります。

MUFGは、「世界が進むチカラになる。」をパーパス（存在意義）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。本機構への参画を通じて、国内外における様々な知見・取り組みを共有し、お客さまのESGの取り組みや持続的な成長を後押しすることで、今後も環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 本機構のプレスリリースは下記をご参照ください。

<https://www.j-sdsc.org/news/>

以 上